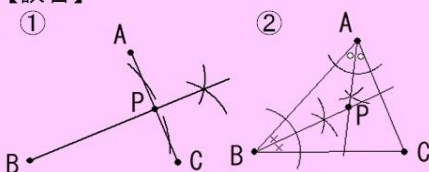


## 本単元でよく見られる生徒のつまずき

【問題】下の図で3点A、B、Cのそれぞれから等しい距離にある点Pを作図せよ。

A  
B C

【誤答】



基本的な作図はできるが、作図の性質を活用して問題を解決することができない。

## 授業での指導の工夫

【本時の目標】基本的な作図の方法の理解を深めることができるようにする。

### 【問題】

真子さんの家は、コンビニエンスストア（点A）とファミリーレストラン（点B）から等しい距離にあり、国道からの距離と道道からの距離が等しい場所にあります。

真子さんの家の位置Pを作図で求めなさい。

### 【学び合う学習集団】

- 記号を使いながら説明を考えたり、小集団で説明し合ったりすることで、作図に対する理解を深めることが大切です。

めあて 作図を利用して具体的な場面での問題を解決しよう。

【問題】

（予想）使える作図には何があるか？

- 垂線
- 垂直二等分線
- 角の二等分線

基本の作図

課題 基本の作図のどのような性質に着目すればよいだろうか。

【解答】

線分ABの垂直二等分線

角の二等分線

答えはこれに決まる。（ここは求めない）

めあて 基本の作図は対称性が決まっています。

【対称性】

- 垂直二等分線
- 角の二等分線

対称の軸

対称の図形

対称の性質

まとめ 基本の作図は対称性が決まっています。そこから等しい性質に着目するとよい。

- 2点から等しい距離にある点 → 垂直二等分線
- 2直線から等しい距離にある点 → 角の二等分線

### 【ねらいに迫るための思考を促す発問】

- 問題解決に活用する既習の作図やその性質を想起しながら、問題解決の見通しをもつことができるようにします。

### 【教科書の構成の理解と教材研究】

- 垂線、垂直二等分線、角の二等分線の作図を「対称性」に着目して統合的に捉え直すことで、線対称な図形と関連付けながら作図の性質の理解を深めることができるようにします。

## 授業づくりで大切にしたいこと

- 基本的な作図を問題解決の手段として活用し、試行錯誤しながら理解を深める場面の設定
- 知識を関連付けて統合的に捉え直し、理解を深める場面の設定